

中野区区民公益活動への政策助成  
事業実施計画書

この様式に書ききれない場合は、項目に「別紙〇を参照」とし、別にA4版1枚以内でご記入ください。

|     |         |
|-----|---------|
| 団体名 | 〇×実行委員会 |
|-----|---------|

|          |   |
|----------|---|
| 1 事業名    | <b>地域健康体操事業</b> <p>申請書(第1号様式)に記載の事業名を記入してください。</p>  |
| 2 事業の目的  | <b>簡単な体操を通して、地域の高齢者の健康増進と孤独防止に取り組むとともに、地域ぐるみで支えあう環境づくりを行うことを目的とする。</b>  |
| 3 事業の日程  | 事業の目的を簡潔に記入してください。箇条書き等、形式は自由です。<br><b>平成24年 4月 1日(日) ~ 平成25年 3月 31日(日)</b>   |
| 4 事業の概要  | (1)実施場所<br><b>●●区民活動センター集会室等</b> <p>会場名、所在地などを記入。実施場所に変更、追加の可能性がある場合は、(予定)、「等」などの表記を加えてください。</p> (2)対象者<br><b>主に一人暮らしの高齢者及び周辺住民</b> <p>対象とする区民の範囲を具体的に記入してください。</p> (3)内容<br><b>運動用のボールやチューブを使って、ストレッチや筋力トレーニングを行う。<br/>                 ①ストレッチ体操、②柔軟体操、③健康ボール、椅子等を使った転倒予防や生活習慣病予防体操</b> <p>申請事業の内容を、できるだけわかりやすく記入してください。</p> (4)方法(実施体制、PR方法等)<br><b>専門の指導者1名と会員及び地域のボランティア3名により、月2回実施。PRは、主に一人暮らし高齢者を中心に、ポスター掲示やチラシ配布などにより周知と行う。チラシは1,000部作成予定。</b> (5)その他<br>事業の実行体制・方法、人員の確保状況(例:学生ボランティア〇〇名動員予定、等)や、PRの対象者、媒体(チラシ、ホームページなど)、回数・枚数などの予定を記入してください。区民へ事業を波及させるためにPRをどのように行うか等も踏まえて記入してください。 |
| 5 事業の目標  | 申請事業への目標参加者数及びその内訳を記入してください。<br>(1)目標参加者数 [ <b>280</b> ]名<br>【内 訳】<br>会 員 [ <b>30</b> ]名                      ボランティア [ <b>50</b> ]名<br>一般参加者 [ <b>200</b> ]名                      そ の 他 [                      ]名<br>(2)その他<br><b>会場を3箇所から5箇所に増やす。回数を月1回から月2回に増やす。など</b> <p>事業の特徴やアピールしたい点を記入してください。<br/>                 ★事業を行う意義や、期待できる成果も含め、記入してください。<br/>                 ★他事業との比較だけでなく、昨年度と比較しての今年度の改善点、経費面で工夫した点を書いてください。</p>   |
| 6 事業の特徴  | (下記を含めて書く)<br>・今年度の改善点<br>・経費面での工夫<br><b>実施会場及び実施回数を増やすことで、多くの方が参加できる機会を用意することができ、参加者のネットワークにより地域で人のつながりができ、高齢者が孤立せず、健康で安心して生活できる環境づくりを継続的に行うことができると考えている。<br/>                 今年度は、地域からのボランティアを動員することにより、専門の指導者を3人から1人に減らすことができ、経費削減をすることができる</b>   |
| 7 事業の継続性 | (1)申請事業開始時期                      平成22 年                      4 月<br>(2)過去の事業実施回数 <b>24</b> 回<br>★新規事業の場合は、記入の必要はありません。  |